



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社  
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古里 親  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 牧 清忠  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0569-72-1231  
平成25年12月6日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,904	4.5	634	15.6	697	15.5	424	12.6
25年3月期第2四半期	10,437	△8.6	549	△34.3	603	△32.0	376	△28.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	48.31	—
25年3月期第2四半期	42.89	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
26年3月期第2四半期	22,163		19,194	86.6			2,185.71	
25年3月期	21,870		18,943	86.6			2,157.09	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,194百万円 25年3月期 18,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	0.1	1,250	2.8	1,350	3.0	820	1.0	93.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	8,832,311 株	25年3月期	8,832,311 株
26年3月期2Q	50,579 株	25年3月期	50,438 株
26年3月期2Q	8,781,774 株	25年3月期2Q	8,781,948 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更)

当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前事業年度及び前第2四半期累計期間についても百万円単位に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新たな政策による景気回復への期待感から輸出関連企業を中心に景況感は徐々に改善されつつありますが、中国経済の停滞など海外景気に対する不安感と為替や株式市場の大きな変動など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、景気回復による個人消費の盛り上がりへの期待感はあるものの、依然として雇用・所得環境は改善の兆しの途上であり、低価格競争の激化と円安による原材料価格の上昇など厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は10,904百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は634百万円（前年同期比15.6%増）、経常利益は697百万円（前年同期比15.5%増）、四半期純利益は424百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、うなぎの稚魚（シラスウナギ）が連年の不漁に伴い、うなぎのたれの売上が苦戦したものの液体スープの売上が順調に推移し、売上高は2,022百万円（前年同期比27.4%増）、セグメント利益は191百万円（前年同期比173.7%増）となりました。

粉粒体食品部門は、機能的食品の受託が低調に推移しましたが、顆粒製品の受託が順調に推移し、売上高は2,164百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は、こだわりの焼きあごを使用した「だし取り職人シリーズ」の販売強化による販売促進費の増加にともない30百万円（前年同期比68.6%減）となりました。

チルド食品部門は、半生麺の受託が低調でしたが、ゆで麺の新アイテムが好調に推移したため、売上高は1,826百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は動力費等の増加により159百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

即席麺部門は、生産高が高水準にて推移し、売上高は3,815百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は239百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

その他は、水産物の販売は順調に推移しましたが、その他商品の取扱が減少し、売上高は1,075百万円（前年同期比19.3%減）、セグメント利益は14百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

第2四半期会計期間末における資産の部は22,163百万円となり、前事業年度末と比べ292百万円増加しました。これは主に、流動資産では現金及び預金が484百万円増加し、受取手形及び売掛金が133百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,968百万円となり、前事業年度末と比べ41百万円増加しました。これは主に、流動負債の未払法人税等が95百万円増加し、その他が72百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は19,194百万円となり、前事業年度末と比べ251百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が248百万円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は5,587百万円となり、前年同期と比べ509百万円(10.0%)の増加となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は973百万円となり、前年同期と比べ208百万円(27.2%)の増加となりました。主な要因は、税引前四半期純利益681百万円、減価償却費287百万円及び売上債権の減少133百万円による資金の増加と法人税等の支払額183百万円による資金の減少であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は374百万円となり、前年同期と比べ67百万円(15.3%)の支出減となりました。なお、投資活動による主な支出は、有形固定資産の取得による支出287百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は175百万円となり、前年同期と比べ0百万円(0.1%)の支出増となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,446	5,931
受取手形及び売掛金	2,114	1,980
商品及び製品	423	394
仕掛品	28	41
原材料及び貯蔵品	285	308
関係会社短期貸付金	7,000	7,000
その他	150	144
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	15,440	15,791
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,174	2,107
機械及び装置(純額)	1,516	1,526
その他(純額)	973	961
有形固定資産合計	4,664	4,595
無形固定資産	46	48
投資その他の資産	1,720	1,728
固定資産合計	6,430	6,371
資産合計	21,870	22,163
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,441	1,429
未払法人税等	191	286
賞与引当金	160	166
役員賞与引当金	15	9
その他	446	374
流動負債合計	2,254	2,266
固定負債		
退職給付引当金	620	644
役員退職慰労引当金	52	58
固定負債合計	672	702
負債合計	2,927	2,968
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	16,512	16,761
自己株式	△64	△65
株主資本合計	18,768	19,017
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	174	177
評価・換算差額等合計	174	177
純資産合計	18,943	19,194
負債純資産合計	21,870	22,163

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,437	10,904
売上原価	9,416	9,745
売上総利益	1,020	1,158
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	141	156
賞与引当金繰入額	24	22
役員賞与引当金繰入額	4	9
退職給付費用	14	12
役員退職慰労引当金繰入額	4	5
その他	281	317
販売費及び一般管理費合計	471	523
営業利益	549	634
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	22	26
雑収入	15	19
営業外収益合計	59	66
営業外費用		
貸貸費用	4	3
雑支出	0	0
営業外費用合計	4	3
経常利益	603	697
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	15
特別損失合計	1	15
税引前四半期純利益	601	681
法人税、住民税及び事業税	221	277
法人税等調整額	3	△20
法人税等合計	225	256
四半期純利益	376	424

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	601	681
減価償却費	304	287
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	6
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14	23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	5
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△0
有形固定資産除却損	1	15
受取利息及び受取配当金	△43	△46
売上債権の増減額(△は増加)	296	133
たな卸資産の増減額(△は増加)	47	△6
仕入債務の増減額(△は減少)	△153	△11
未払消費税等の増減額(△は減少)	5	2
長期前払費用の増減額(△は増加)	5	5
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△0	16
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△60	3
小計	1,012	1,110
利息及び配当金の受取額	43	46
法人税等の支払額	△290	△183
営業活動によるキャッシュ・フロー	765	973
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△216	△256
定期預金の払戻による収入	136	196
有形固定資産の取得による支出	△358	△287
有形固定資産の売却による収入	—	3
無形固定資産の取得による支出	△2	△29
その他の支出	△1	△1
その他の収入	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441	△374
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△175	△175
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175	△175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	148	424
現金及び現金同等物の期首残高	4,929	5,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,077	5,587



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,587	2,153	1,818	3,545	9,104	1,332	10,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,587	2,153	1,818	3,545	9,104	1,332	10,437
セグメント利益	70	96	177	191	535	13	549

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,022	2,164	1,826	3,815	9,828	1,075	10,904
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,022	2,164	1,826	3,815	9,828	1,075	10,904
セグメント利益	191	30	159	239	620	14	634

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。